

ふれあい東京

第194号 令和2年9月30日発行
公益社団法人 東京のあすを創る協会
〒104-0028
東京都中央区八重洲
二丁目11-7 6階
電話 03(3272)0213



コロナ禍について 理事・事務局次長 三浦英美

昨年末に中国武漢市で発生した新型コロナウイルスは、瞬く間に世界中に拡大し、各国で多くの人命や健康を奪い、経済にも深刻な打撃を与えています。僅か9か月で世界の累計感染者数は3,290万人、死者数は100万人に上り、感染拡大に歯止めがかかっていません。かつてエイズウイルスが猛威を振るった時、“森の逆襲”などと言われました。人間が自然環境を破壊した結果、そこにもともと居た病原菌が襲いかかってきました。新型コロナウイルスも、本来は人間と接点のないウイルスだとすれば、それが突然現れてきたのは、人間が自然や他の生物との関係を破壊したためでしょうか。先日、森林減少や種の絶滅といった生物多様性の損失を防ごうと、世界各国の首脳級による国連の会合(生物多様性サミット)が開かれました。その会合で、国連のグテーレス事務総長は、「新型コロナウイルスなど動物由来の感染症が広がるのは、人間が自然を損ない生態系との間のバランスを崩したからだ」と指摘。そして、「自然破壊は環境だけでなく、

経済や健康、社会正義、人権の問題だ」と改善を訴えました。

自然環境の破壊は、人間の生存の危機につながります。また、その危機は、社会の不平等や格差によって更に増幅されます。今回のコロナ禍は、科学や医学の問題だけでなく、人間社会の在り方も問いかけているものと思います。



4月30日(木)朝、東京駅八重洲改札口辺りは人影もまばら～駅構内の店舗も休業

◆令和2年度 活動団体について

近年、運動団体の減少が続いています。令和元年度いっぱい東創協の登録団体から離れたのは、幡ヶ谷生活学校、滝西生活学校、いずみの会生活学校、しあわせ生活学校、瑞穂生活学校の生活学校5団体でした。生活会議では、大山MSC、大正琴同好会「いずみ」が登録団体から離れました。一方、新規登録については、北プレ外あそび生活学校(北区)の1団体。さらに、今年度から始めたNPO法人等へ東創協が協賛会員として加入する形で支援するのは、NPO法人てーねん・どすこい倶楽部(墨田区)、NPO法人青い空-子ども・人権・非暴力(板橋区)の2団体です。

北プレ外あそび生活学校(北区)	外遊びは、子どもの体力向上や健全な成長につながる効果があります。外遊びを通して、子どもの自主性や主体性、共感する力を育みます。具体的な活動内容として、①区立公園で絵の具遊びや水遊び、焼き芋体験などを、親子で行います。また、②区外で子育て支援の一環として実施されている外遊びについて、実地の見学会を行います。
NPO法人てーねん・どすこい倶楽部(墨田区)	定年を迎えた人たちを主体として、経験や技能、趣味や特技を活かしたボランティア活動で地域社会に貢献・参画して住みよい地域づくりを目指しています。日本語教育支援、シニア人材バンク、情報紙、セミナー、IT支援、健康・シニア支援、子育て支援、個別支援、生きがい講座、食育支援、経営・起業支援、施設管理運営の各事業を会員60人余りでカバーしています。
NPO法人青い空-子ども・人権・非暴力(板橋区)	米国で開発され世界10カ国以上で実施されている、CAP(Child Assault Prevention:子どもへの暴力防止)プログラムを、日本でも子どもが「いじめ・誘拐・性暴力」といったさまざまな暴力から自分を守るための暴力防止プログラムとして実施しています。「青い空」は1996年に立ち上げ、2003年にNPO法人化し、セルフディフェンス講座、デートDV防止講座を加えて、現在まで継続的に活動を続けています。

◆令和2年度定時社員総会を開催

6月26日に開催された総会は、参加者36名、委任状165通を得て、令和元年度の事業報告・決算及び理事の選任について審議が行われました。

◇事業報告・決算報告

毎年秋開催の都民フォーラムについて、これまでの環境問題のテーマから変更し、元年度は「地域活動は、今」として活動団体の取組みについて実施したなどの事業報告及び決算が承認されました。

◇理事選任

6月26日付で中井敬三氏、高橋芳行氏、田中宏治氏、三浦英美氏を理事に選任する議案が承認されました。就任期間は、令和3年6月定時総会までとなります。なお、村木憲幸理事(NHK首都圏営業推進センター専任部長)につきましては、任期途中ですが本人より申し出があり、7月末日付け退任となりました。したがって、役員数は、理事13名、監事2名の15名となります。



マスク着用、間隔をあけての着席による総会

令和元年度 事業報告

第1号事業 啓発普及及び表彰

- 運動推進大会 令和2年3月6日(金)【感染症予防対策のため中止となりました】
団体表彰1団体／個人表彰11名／個人感謝状4名／協力者感謝状1名

第2号事業 調査研究および資料の作成頒布

- 機関誌の作成 機関誌「ふれあい東京」第192号(令和元年9月) 第193号(令和2年3月)
- ホームページの充実 環境フォーラム・推進大会等の活動のPRやその記録

第3号事業 シンポジウムの開催等

1 都民フォーラム「地域活動は、今」

令和元年11月20日(水) 東京都教職員研修センターホール 参加者 40人

- (1)「地域を取り巻く環境の変化について」 事務局長:藤本龍夫
- (2)地域活動の実際について カタクリの会:会長 磯崎正氏
国分寺市高木町自治会:前自治会長 櫻井幹三氏
町田市真光寺川を清流にする会:代表 山本隆治氏

2 リーダー研修会 (東京都消費生活総合センター)

- 生活学校・生活会議代表者会議 令和元年6月7日(金) 参加者 85人

令和元年度の運動の基本方針、活動費の取扱いについての説明

- 指導者研究集会 令和元年6月7日(金) 70人

- 活動報告 ①国立市くにたち生活学校運営委員長 住原美和子氏
②たちかわ水辺の楽校生活会議事務局長 竹内明美氏

3 課題別研修会

- 生活学校対話集会 令和元年10月18日(金) 東京都消費生活総合センター 参加者 53人
講演「北区の子ども食堂の取り組み状況について」:宮嶋貴道氏(社会福祉法人北区社会福祉協議会子ども支援担当)
対話集会:田丸せつ子氏(東京都生活学校連絡協議会会長)、宮嶋貴道氏、中筋桂子氏(渋谷区・初台生活学校)
宮代幸枝氏(渋谷区・長谷戸生活学校)
- まちづくりの輪を広げる集い 令和元年10月2日(水) 東村山市サンパルネ・コンベンションセンター 41人
講演:「住民に必要とされる自治会づくり」 佐藤良子氏(立川市大山自治会前会長)

第4号事業 実践団体の活動に対する協力ならびに支援

- (1) 各種の支援を行い、集団活動の活性化と、活動の拡大促進を図る。
 - 1 生活学校支援 活動費補助 20,000円×25校
 - 2 生活会議支援 活動費補助 30,000円×7団体、20,000円×51団体
 - 3 活動推進助成 特別活動費補助、オリンピック・パラリンピック活動奨励補助 30,000円×4団体

4 運動推進活動 連絡推進役会議の開催 令和2年1月24日(金)

運動推進NEWSの発行 毎月発行 200部 第194号～第205号

(2) 各種団体との連絡調整を図ると共に各種集会への参加協力を行う。

- ・生活学校連絡協議会 年間12回
- ・生活会議連絡協議会 年間6回

第6号事業 定款に基づく会議の開催

- ・定時総会 令和元年6月17日(月) 平成30年度事業報告・決算審議／理事選出 消費生活総合センター
- ・理事会 令和元年5月31日(金) 平成30年度事業報告・決算審議 消費生活総合センター
令和2年3月19日(木) 令和2年度事業計画・予算審議 (決議省略方式)
- ・監事会 令和2年5月13日(水) 令和元年度事業報告・決算監査 協会事務所

令和元年度 財務諸表(貸借対照表) 令和2年3月31日現在 (単位:円)

科 目	金 額	科 目	金 額
I 資産の部		II 負債の部	
1 流動資産 現金預金	4,068,125	1 流動負債 未払金	194,403
未収会費	45,000	預り金	134,099
流動資産合計	4,113,125	流動負債合計	328,502
2 固定資産		2 固定負債	0
(1)基本財産 基本金(定期預金)	473,662	負債合計	328,502
(2)特定資産振興基金	1,000,707	III 正味財産の部	
(3)その他の固定資産電話加入権	210,984	1 一般正味財産	14,361,496
保証金	8,891,520	(うち基本財産への充当額)	473,662
その他の固定資産合計	10,103,211	(うち特定財産への充当額)	1,000,707
固定資産合計	10,576,873	正味財産合計	14,361,496
資産合計	14,689,998	負債及び正味財産合計	14,689,998

令和2年度 役員 理事13名、監事2名の15名 令和2年8月1日現在

会 長	大原 正行	前(公財)東京都都市づくり公社理事長、元都教育長
副会長	田丸せつ子	東京都生活学校連絡協議会会長
常務理事	藤本 龍夫	(公社)東京のあすを創る協会事務局長
理 事	中井 敬三	東京都住宅供給公社理事長、前都教育長
理 事	田中 宏治	東京都教育庁地域教育支援部長
理 事	青木 英二	特別区長会代表 (目黒区長)
理 事	永見 理夫	東京都市長会代表 (国立市長)
理 事	高木 雅信	読売新聞東京本社編集局解説部長
理 事	高橋 芳行	東京商工会議所検定事業部長
理 事	西村 弘	東京都生活会議連絡協議会会長
理 事	矢野 瑞耶	大田区生活学校連絡協議会会長
理 事	三浦 英美	(公社)東京のあすを創る協会事務局次長
理 事	町田 初恵	前(公社)東京のあすを創る協会事務局次長
監 事	鈴木 和子	前全国生活学校連絡協議会事務局長
監 事	廣瀬 丈久	前東京都教育庁局務担当部長(都立中央図書館管理部長)

◆そして、東京都の人口、初めて1,400万人を突破



6月6日開業の虎ノ門ヒルズ駅



見上げるばかりの虎ノ門ヒルズ・森タワー



山手線の隣に移設した埼京線ホーム

6月12日、「東京都の人口、初めて1,400万人を突破」というニュースが伝えられました。都内の推計人口(5月1日)が**1,400万2,973人**で、前月より2万351人増え、初めて1,400万人の大台を超えました。地域別では、23区が969万6,631人(前月比1万4,543人増)、市部が422万5,504人(同5,515人増)、郡部が5万6,152人(同42人減)、島部が2万4,686人(同335人増)でした。

また、6月5日には、昨年(2019年)の**出生数が86万5,234人**で、統計がある1899年以降最少、死亡数が戦後最多の138万1,098人だったとの発表がありました。差し引きの人口の**自然減は51万5,864人**です。ちなみに、都道府県最少人口の鳥取県が555,663人、県庁所在地の宇都宮市が519,255人、松山市が509,139人ですが、それらの自治体人口に匹敵する日本人が一年間で減少した勘定になります。日本全体では人口が大きく減少している中で、東京都をはじめ大都市圏の人口が増えているため、地方の人口は自然減少に加えて、人口流失による過疎化が一層進んでいることとなります。

◆虎ノ門ヒルズ駅開業

3月に高輪ゲートウェイ駅が新規開業しましたが、今度は地下鉄に新しい駅が6月6日に開業しました。日比谷線の「虎ノ門ヒルズ駅」です。「高輪ゲートウェイ駅」に続き、またまたカタカナが入った駅名です。この新駅は、2014年(平成26年)に竣工した虎ノ門ヒルズ森タワー、2020年(令和2年)1月15日に竣工したビジネスタワーに直結する形で建設されたものです。中核の森タワーは、地上52階・地下5階建てで高さ247mの超高層ビルです。また、6月1日、JR渋谷駅の埼京線ホームが、山手線ホームに隣接する位置に移転し、乗り換えが容易になりました。

◆「コロナに負けるな」の願いを込めて

新型コロナ感染の拡がりもあり、多くの団体の活動が休止を余儀なくされていますが、小平市の「風鈴草子ども食堂」がテイクアウトのお弁当づくりをしていると聞き、訪ねてみました。訪問した日も熱中症が心配される熱波の中でしたが、コロナ禍の中で元気を失いがちな子供たちに、愛情いっぱいのお弁当を食べてもらおうと、メンバーはマスク着用で奮闘していました。当日のメニューは、暑



8月28日、「風鈴草子ども食堂」(小平市) テイクアウトメニュー/当日活動のメンバー



い中でもさっぱり美味しく食べられるよう、味の変化と彩りも豊かな五色丼、さばのあえものでした。大人用とは別に小さな子供用のパック詰めを含め、50食がたちどころに完成。汗も滴り落ちる盛夏の中での奮闘努力でしたが、お弁当を楽しみに取りに来て笑顔を見せる子供たちに、疲れも吹き飛び元気をもらえたようでした。

▽ひとこと コロナ禍において余りに楽天的で能天気な対応をしている一国のリーダーがいたりしますが、自然災害もしくは人災に対しては最悪の想定をも視野に入れた対策を講じないと、取り返しのつかない結果を招いてしまうことがあります。これは、東日本大震災の際に学んだ教訓です。日々増え続けている汚染水の処理も思うに任せないなど、いまだに多くの人々に禍根を残している、福島第一原子力発電所のメルトダウンを引き起こした津波による電源喪失。防潮堤のかさ上げ、外部電源の高所配置など最悪の想定の下で対策が講じられていたら、どうだったか。目先の判断で設備投資の費用を出し渋った結果、天文学的な数字の損害を生じさせ続けています。電力会社及び国の責任は明らかです。さて、新型コロナウイルスの感染拡大という危難に対して、これまでの歴史の教訓、知見に基づき最悪の想定をして、そこに至らないようにするためにはどのような対策が優先されなければならないのか。何よりも必要なことは、ひとりひとりの命をどうすれば助けられるのか、そのための対策です。日本において一日に1万人もの感染者が出るような事態を想定する。もちろん感染しないようにする予防も大事ですが、そんな最悪の想定においても、新型コロナウイルスに感染しても命を失われなく済む医療、その体制の整備に最大限の力を注ぐことがやはり大事です。治療薬を！ (竜)